

## ベナン月報(2014年10月)

### 主な出来事

#### 【内政】

●6日、ヤイ大統領及び各憲法機関代表との間で地方選挙の実施時期を巡り協議が行われた。本協議後、バトコ最高裁判所長官は、技術的・予算的制約から本年度中の地方選は実施困難である旨メディアに対し説明した。

●8日、閣議において地方選挙を本年度中に実施する旨決定された。

●10日、ヤイ大統領は、ナゴ国民議会議長を含む国民議会幹部等との会合を開き、本年度中、可能であれば12月28日に地方選挙を実施したいと説明した。

●29日、市民団体の呼びかけに応じて約7千人の市民らが、早期の地方選挙実施を求めてコトヌ市内をデモ行進した。

#### 【外政】

●20日、ワガドゥグにおいてUEMOA20周年記念式典が開催され、ヤイ大統領が出席した。

#### 【経済】

●29日、世銀のDoing Businessが発表され、ベナンは去年の167位より16位順位を上げ、151位であった。

●30日、日本が草の根・人間の安全保障無償資金協力でウイダ市キンウェジ小学校に校舎2棟を建設し、塚原駐ベナン日本大使及びアジヨヴィウイダ市長出席の下、引渡式が開催された。

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、La Nouvelle Tribune 紙及び L'Autre Quotidien 紙の記事を元に記載したものです。

#### 【内政】

- ・ ベナン北部においてコレラが流行し、既に57人の死亡が確認されている(1日、L'Événement Précis紙)。
- ・ 2日、総額が1兆5060億FCFAとなる2014年度政府予算案が閣議決定された。また、同閣議において、恒久電子化選挙人名簿(LEPI)指導監督評議会(COS/LEPI: Conseil d'Orientation et de Supervision de LEPI)及び独立国家選挙管理委員会(CENA)にそれぞれ、4億FCFA、20億FCFAを支出することが決定した(6日、La Nation紙)。
- ・ 4日、ナゴ(M. Maturin Coffi NAGO)国民議会議長も参加し、新政治グループとなる愛国再生運動(MSP:Mouvement pour un Sursaut Patriotique)設立集会が開催された。同設立集会には、市民社会関係者、野党議員、与党議員も多数参加した(2日、Le Matinal紙)。
- ・ 6日、ヤイ大統領及び各憲法機関代表との間で地方選挙の実施時期を巡り協議が行われた。本協議後、バトコ(M.Ousamane BATOKO)最高裁判所長官は、技術的・予算的制約から本年度中の地方選は実施困難である旨メディアに対し説明した。また、同会合では、ナゴ国民議会議長が欠席しており、大きな物議を醸した。その後、ナゴ議長は、大統領府より正式な会合開催通知を受け取っていないため、同会合に出席しなかった旨説明した(7日、La

Nouvelle Tribune紙)。

- 8日、閣議において地方選挙を本年度中に実施する旨決定された(9日, La Nation紙)。
- 同日、COS/LEPIの副代表は、修正LEPIを17日にCENAに提出する旨発表した(9日, Le Matinal紙)。
- 10日、ヤイ大統領は、ナゴ国民議会議長を含む国民議会幹部等との会合を開き、本年度中、可能であれば12月28日に地方選挙を実施したいと説明した(11日, Le Matinal紙)。
- 11日、北部ウアサ・ペウンチヨ市において、複数の若者によって3人及びその家族が暴行にあった他、同人らの家が放火された。この事件以前に、同市のイスラム教指導者(マラブ)が、同人らが昨今北部で流行しているコレラの元凶である旨述べ、これを信じた加害者である若者集団が憤慨し、犯行に及んだ由。これを受けて、14日、内務大臣は、本事件の重大性及び沈静化の必要性を訴えるとともに、本事件に適切に対応しなかったとしてウアサ・ペウンチヨ市長を批判する旨の会見を行った(13日, Le Matinal紙)。
- 13日、ボルグ県において相当量の武器を違法に輸送していた車両2台が検挙された(23日, Le Matinal紙)。
- 14日、コヌ市において、強盗を逮捕しようとした3人の警察官が同強盗との銃撃戦の中で被弾し、死亡した(15日, Le Matinal紙)。
- 14日、医療関係者らが待遇の改善を求めて最低限の医療サービスも行わない(sans service minimum)72時間のストライキを敢行した。25日、医療関係者労働組合幹部は、28日より再度、sans service minimumの72時間のストライキを敢行する旨発表した(15日, L'Événement Précis, 26日, Le Matinal紙)。
- 16日、アフォ(M.Safiou Idrissou AFFO)青年・スポーツ・余暇大臣は、若年者雇用促進の一環として、3,200人の若者を各省庁の研修生として採用する旨決定した(17日, La Nation紙)。
- 16日、バイクタクシー運転手をしていた青年が警察の検問時に殺害され、これに憤慨したナティティング市及びブクンベ市の住民がタイヤを燃やす等して抗議活動を行った(17日, Le Matinal紙)。
- 17日、チャウル市で商人らを乗せたピックアップトラックが何者かに襲われ、2名の死亡者、2名の負傷者が出た他、500万FCFAが盗まれた(20日, La Nation紙)。
- 23日、ラフィア(M.Sacca LAFIA)COS/LEPI代表が、メディアに向けてLEPI改正のためには更に80億FCFA必要である旨発表した(24日, Le Matinal紙)。
- 23日の夜から24日未明にかけて、アボメイ・カラヴィのコトメにあるUAB銀行が1億4千万FCFAの強盗に遭った。警備の警官2人は居眠り中のところを強盗に縛られ、銃を盗まれた由(27日, Le Matinal紙)。
- 25日、6閣僚と大統領府顧問がメディアに対し、政府は、選挙準備を適切に行っている旨訴えた。その中でクチェ(M.Komi KOUICHE)経済・財務・民営化大臣は、予算要求の計画に具体性がないとして、更に80億FCFAが必要であるとするCOS/LEPI委員らを批判した(27日, Le

Matinal紙)。

- ・ 29日、市民団体の呼びかけに応じて約7千人の市民らが、早期の地方選挙実施を求めてコトヌ市内をデモ行進した(30日、L' Autre Quotidien紙)。

#### 【外政】

- ・ 14日、ロメ港の3本目の埠頭が完成し、同完成式典にヤイ大統領が、ニヤシンベ(M.Faure Essozimna GNASSHINGBE)トーゴ大統領及びイスフ(M. Mahamadou ISSOUFOU)ニジェール大統領とともに出席した。同埠頭の建設費は、3千億FCFAに上る(15日、La Nation紙)。
- ・ 20日、ワガドゥグにおいてUEMOA20周年記念式典が開催され、ヤイ大統領が出席した(22日、L' Evénement Précis紙)。

#### 【経済】

- ・ 1日、中国の支援で建設されたアカサト技術高校が開校し、ヤイ大統領及びタオ(M.Weiguang TAO)駐ベナン中国大使が引渡式を実施した。同学校の建設費用は、約70億FCFAに上る。同学校には、電気工学、情報科学、自動車メカニック、ホテル業、レストラン業の5学科があり、約700人の生徒を擁する(2日、La Nation紙)。
- ・ 2日、ヤイ大統領は、第3期蚊帳無償配布キャンペーンの開始式を実施した。本キャンペーンでは、USAIDの支援のもと蚊帳600万張りが、約200万世帯に配布される予定(3日、La Nation紙)。
- ・ 6日から10日、アメリカ文化センターは、ベナン人の若者100人を対象に「開発のためのリーダーシップ」と題した研修を実施した(13日、La Nation紙)。
- ・ 9日、UNICEF及びUNFPAがコトヌ市において、子どもに対する暴力対策に関するワークショップを開催した(10日、La Nation紙)。
- ・ 10日、ケトゥ市の道路舗装工事計画の起工式が実施され、ヤイ大統領が出席した(13日、La Nation紙)。
- ・ 11日、コトヌ市のロータリークラブが、アジャラ市の女性組合に対し、ヤシ油製造のための加工機械を贈呈し、引渡式が実施された(13日、La Nation紙)。
- ・ 16日、ヤイ大統領は、アジョウン市のウエメ川流域船着き場建設工事の開始式に出席した(17日、La Nation紙)。
- ・ 同日、ヤイ大統領は、サヴァル市ーチエッティ市間アスファルト道路建設工事の開始式に出席した(17日、La Nation紙)。
- ・ 17日、アフリカ開発銀行及びFAOが、ウエメ川流域農業インフラ建設計画等複数の無償資金協力及び有償資金協力案件の実施を決定し、署名式が行われた(20日、La Nation紙)。
- ・ 23日、ナイジェリアの石油関連企業SAPETRO社がベナン政府と官民連携でアボメイ・カラヴィ市にレフェランス病院を建設することが決定し、ヤイ大統領及びダンジュマ(Mme Daisy DANJUMA)同社副代表が定礎式を行った(24日、La Nation紙)。

- 26日、アボメイにおいて、ジジャ・ゾーン病院が、アフリカ開発銀行の支援で完成し、ヤイ大統領及びカンデ・ガザル(Mme Dorothée Akoko KINDE-GAZARD)保健大臣が完成式に出席した。総工費は、60億FCFAに上る(27日、La Nouvelle Tribune紙)。
- 29日、世銀のDoing Businessが発表され、ベナンは昨年の167位より16位順位を上げ、151位であった(30日、L' Autre Quotidien紙)。
- 30日、日本が草の根・人間の安全保障無償資金協力でウイダ市キンウェジ小学校に校舎2棟を建設し、塚原駐ベナン日本大使及びアジヨヴィ(M. Séverin ADJOVI)ウイダ市長出席の下、引渡式が開催された(30日、La Nouvelle Tribune紙)。

(了)